

無事故無災害の継続を

中館建設 安全大会 研修などで意識高揚

（株）中館建設（三戸市、中館真代表取締役）は、

4日、二戸市の二戸シビックセンターで25年度安全衛生大会を開いた。社員や協力業者など約130人が出席し、同社の安全衛生推進計画の周知や現場での体験発表をはじめ、研修、優良従業員の表彰などを通して、同社

冒頭のあいさつで、中館代表取締役は「本日をもって2315日無事故を継続しており、各現場で日々、安全意識を高め努力していただいた結果」と感謝した上で、「今年

度も全ての現場で災害ゼロをモットーに、無事故無災害の達成へ私が入頭に立つて取り組んでいく」と決意を示した。

加えて、「安全において大切なことは、足元の意識」と指摘。「現場では同じ作業の繰り返しが多いが、日がたつにつれて慣れを感じるから、お互いの確認作業がいい加減になり事故につながる。慣れから脱却するために原点に

立ち返ることこそが足元の意識」と話し、実践を促した。

研修では、建設業労働災害防止協会員支部岩手安全衛生支援センターの安全衛生専門家の指導員を務める阿部健一さんが、「三現主義に学ぶ、凡事徹底をはかる」と題して講演。

同社の今年度の安全衛生推進計画を見る

全面的目標に「死亡労働災害ゼロ、重大事故の絶滅、安全作業基準の遵守、作業方法・設備の改善による事故撲滅、危険を見抜く力の育成の徹底、衛生面の目標に「作業性疾病の

絶滅、健康診断完全実施、衛生に対する情報提供による健康管理の徹底」を掲げる。



安全大会で表彰された従業員、協力業者は次の通り。

（敬称略）

〈優良従業員表彰〉

▽佐々木麗菜（土木部）、平井俊樹（建築部）、上柿舞佳（総務部）、山道繁樹（職長）

〈優良協力業者表彰〉

▽（株）オリテック21、

馬淵川設備（株）